



■ 日常も非常時も役立つ玄関の納戸

K子 玄関の正面に納戸(写真②)がありますね。なぜこの位置に？

ガイド 大物収納の納戸は2階に採ることが多いですが、重たいものを持って階段を上がるのは大変です。ここでは、災害用の保存水などを置いています。というのも、備蓄品は玄関に近いところに置くのが鉄則らしいです。奥へ置くと、とっさの時に使えないし、そこまで行き着かないという状況もありますので、玄関から近い場所に大物収納を採ることをおすすめします。ハンガーパイプもありますので、季節の上着を掛けたり、お子さんのスポーツ用品や、ご主人のアウトドアグッズの置き場としても重宝します。

■ 景色の変化も楽しめる

LDK+和室+ウッドデッキの大空間

ガイド この廊下(写真③)を通るとLDKです。ここでスイッチをオンからオフに切り替えて、リビングにわくわくして入っていくイメージです。そして、この廊下にはウッドデッキとつながる大きな開口があります。ここからリビングにかけて回り縁のようになっていきますので、見る角度によって景色が変わります。そういうことも楽しみながらこの廊下を歩いて欲しいですね。**K子** 和室(写真④)からウッドデッキや外の景色も見渡せますね。

ガイド 隣に家が建つと、リビング側から外を眺めた時、隣家との距離感は短くなりますが、和室からの距離感はどうでしょうか。長いウッドデッキや道路、そして向かいの家まで距離が

あり、視線が抜けるので広がりを感じられます。

K子 なるほど、二方を向くL字型になっているのは、街なかの密集した住宅地でも、プライバシーを守りながらも景色を楽しむための工夫なんですね。

ガイド こちらが23帖のLDK(写真④)です。このキッチンに立ってみてください。玄関先から和室、リビングとぐるっと見渡せるので、料理しながら、家族の出入りや来訪者もわかります。

K子 キッチンに居ながら、家族の様子が把握できるのはとても助かります。

ガイド このLDKにはたくさん気持ちよさを自給自足するポイントがあります。生垣は通常より高めにして程よく目隠しをしています。生け垣で外からの視線を閉じることで、リビングからウッドデッキまでの空間(写真⑤)を広く使う。ここでバーベキューしたり、お子さんのプールを置いたり、家族で自由に大空間を楽しめます。

■ 空間と家族をつなぐ吹き抜け

ガイド ダイニングから上は吹き抜け(写真④⑤)になっています。「ご飯できたよ」と声が届きますし、別々のフロアに居ても家族の気配も感じることができます。この吹き抜けが空間や家族をつないでくれます。ダイニングテーブルに座ってみてください。雲が流れていくのが見えますよね。大きな費用負担もなく、心の贅沢も得られる空間です。これも気持ちよさの自給自足です。